

# おやこで！あいかわ森のようちえん～春～

■開催日：2023年4月29日(土) ■参加者数：11家族36名

■ディレクター名：三好 真由(みよっしー)

■担当スタッフ(キャンプネーム)：

ともちゃん、まいしん、かわっち、おぐマン、ぴけ

## ■事業のねらい

●森のようちえんでの子どもとのかかわり方について、理解を深めてもらう。

●季節ごとの自然を感じながら親子で遊び、日常でも自然遊びをするきっかけとしてもらう。

## ■活動内容

集合、はじまりのつどい  
体ほぐしゲーム

親子分かれて活動

・大人：カフェタイム

・子ども：野あそび

昼食(持参弁当)

親子で春のお弁当作り

グループで分かれて野あそび

・親子でたんけんグループ

・友だちと野あそびグループ

おわりのつどい、解散



こども隊は、原っぱではだしに。ふかふかであったかい芝生が気持ちいいね。



木を一生懸命登るイモムシの応援。もうすぐてっぺん！がんばれ！



おとな隊は、お湯を沸かしてカフェタイム。青空の下で飲むとよりおいしいですね。



親子で、草花を使った「春のおべんとうづくり」。どんなお弁当にしようかな～。



作ったお弁当の試食鑑賞会。おいしそうなお弁当がたくさんできたね。



最後はお友だちと森たんけん。見つけた丸太のイスに座ってやっほー！

## ■事業のエピソード

### 一緒に持とう！

こども隊でたんけんをしていると、2mほどの長い枝が落ちていました。1人の子が枝を持とうとしますが、なかなか持ち上がりません。すると周りの子が、枝を一緒に持ち、力を合わせて運び始めました。大人なら軽々と持ち上げられる枝も、子どもにとっては大きな宝物です。もしかしたらその宝物を「持ちたい！」という気持ちで持っているだけかもしれないですが、協力することで、持てた達成感を得られたのではないのでしょうか。

### 安全な道えらび

村の森は、急な坂がいくつかあります。Aくんが「下に降りる」と言うので、スタッフは坂下から、坂上にいるAくんに「どうする？そこから降りる？」と聞きました。Aくんは、「ここは危なそうだから、いい道ないか探してくる！」と、降りやすい道を探しに行きました。そして、緩やかな斜面を見つけ、自分だけの力で降りてきました。これまで色々なところで色々な遊びをしたからこそ、自分で見極めて、安全な選択ができるのでしょうか。